

予算特別委員会記録

1. 日 時 令和5年6月8日(木)

午後 1時15分 開 会

午後 2時02分 閉 会

2. 場 所 白 鷹 町 役 場 議 場

3. 議 題 (1) 議第64号 令和5年度白鷹町一般会計補正予算(第2号)につ
いて

(2) 議第65号 令和5年度白鷹町立病院事業会計補正予算(第
1号)について

○出席委員(11名)

2番	衣袋正人	委員	3番	横山和浩	委員
4番	竹田雅彦	委員	5番	佐々木誠司	委員
6番	丸川雅春	委員	7番	金田悟	委員
8番	笹原俊一	委員	9番	山田仁	委員
10番	関千鶴子	委員	11番	今野正明	委員
12番	遠藤幸一	委員			

○欠席議員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	佐藤誠七
副町長	田宮修
教 育 長	衣袋慶三
総務課長	菅間直浩
税務出納課長	高橋浩之
企画政策課長	加藤和芳
町民課長	橋本達也
健康福祉課長	長岡聡
商工観光課長	黒澤和幸
農林課長併 農業委員会事務局長	大木健一

建設課長	菊地	智
上下水道課長	鈴木克	仁
病院事務局長	片山正	弘
教育次長	橋本秀	和
総務課長補佐 兼財政係長	鈴木秀	昭
総務課長補佐 兼総務係長	梅津友	宏
監査委員	竹田謙	一

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	小林	裕
補佐	芳賀和	則
書記	竹田雅	紀子

開 会

〈午後1時15分〉

○開会の宣告

○委員長（山田 仁） ご参集、誠にご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日開催の第4回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された令和5年度白鷹町一般会計補正予算（第2号）外1件の補正予算について審査を行います。

審査の方法は、お手元に配付の補正予算審査文書表のとおり、一般会計から順に令和5年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行った後、議案番号順にそれぞれ採決したいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） ご異議がないので、そのように進めることに決しました。

○議第64号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） それでは、議第64号 令和5年度白鷹町一般会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

初めに、補正予算の概要についての説明を求めます。菅間総務課長。

○総務課長（菅間直浩） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要2ページをお開きください。

概要につきましては、企業立地促進事業をはじめとする主要施策の追加対応や、住民税非課税世帯電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業等の物価等高騰対策を講じつつ、公共施設の老朽化等への対応を行ったものでございます。

款、補正額、主な説明を申し上げます。

初めに歳入でございます。

14款国庫支出金、6,471万1,000円。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金5,487万5,000円、デジタル田園都市国家構想交付金301万2,000円、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金440万円及び同給付金給付事務費補助金150万6,000円、公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金91万8,000円でございます。

15款県支出金、906万2,000円。魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業88万7,000円、山形県みどり環境交付金52万3,000円、農山漁村地域整備交付金750万円などがございます。

18款繰入金、7,730万円。公共施設整備基金繰入金1,730万円、財政調整基金繰入金6,000万円でございます。

19款繰越金、3,071万2,000円。

20款諸収入、301万5,000円。コミュニティ助成事業250万円、建物災害共済金51万5,000円でございます。

21款町債、2,410万円。内訳はご覧のとおりでございます。

歳入合計、2億890万円。

次のページをご覧ください。

歳出でございます。

共通事項といたしまして、人件費44万5,000円、人件費の調整でございます。

2款総務費、1,575万2,000円。まちづくり推進事業143万円、移住施策実施に向けた体制強化への対応でございます。コミュニティ助成事業250万円、鮎貝地区が行うコミュニティ活動用備品の整備に要する経費でございます。地区コミュニティセンター費346万9,000円、分館施設整備事業の申請増加に対応するための追加計上でございます。デジタル推進事業702万4,000円、行政情報配信システム構築経費の追加計上でございます。

3款民生費、5,331万7,000円。住民税非課税世帯電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業4,387万5,000円、住民税非課税世帯に対し、給付金を支給するための対応でございます。子育て世帯生活支援特別給付金事業590万6,000円、低所得の子育て世帯に対し、給付金を支給するための対応でございます。

次のページをお開きください。

6款農林水産業費、3,462万円。魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業133万1,000円、園芸産地をリードする競争力の高い経営体の育成を図るための機械導入等支援への対応でございます。6次産業化推進拠点施設整備事業1,189万1,000円、6次産業化推進に向けた拠点施設の実施設計への対応でございます。酪農生産費高騰緊急支援事業（物価高騰対応分）1,100万円、生産費の高騰により厳しい経営状況にある酪農家に対し、国県と連携して支援するための対応でございます。農業用河川工作物応急対策事業276万3,000円、諏訪堰2地区農業用河川工作物応急対応に対する追加対応でございます。みどり環境交付金事業54万2,000円、木に親しむ環境づくりなど地域提案事業の追加に伴う対応でございます。林道沼平線道路改良事業500万円、林道沼平線道路改良事業に対する追加対応及び財源調整でございます。緊急自然災害防止事業（林道防災）150万円、林道白鷹東部線の一部開通区間における災害防止工事に向けた対応などでございます。

次のページをご覧ください。

7款商工費、6,617万7,000円。観光4シーズン推進事業141万3,000円、紅花まつり会場変更等に伴うテントリース代など必要経費の追加計上でございます。ヤナ公園管理事業100万円、ヤナ公園内のイベント実施の際の安全確保対策を行うための対応ござい

ます。伝統工芸の村管理事業257万円、いきいき深山郷のどか村の指定管理委託に向けた追加計上でございます。企業立地促進事業6,000万円、企業立地促進事業費補助金の追加計上でございます。産業センター管理費102万9,000円、施設の修繕を行うための対応などでございます。

8款土木費、1,312万5,000円。町道維持補修費1,300万円、路面補修等の安全対策をはじめとした維持補修工事の追加計上及び財源調整などでございます。

次のページをお開きください。

10款教育費、1,897万円。小学校管理費692万円、老朽化が著しい小学校遊具の撤去及び更新を行うための対応でございます。保健体育施設費477万2,000円、東陽グラウンドにおける照明点灯装置等の機能回復のための対応でございます。スキー場運営事業費485万1,000円、ペアリフト機械回りの機能回復のための対応などでございます。

11款災害復旧費、554万円。観光施設豪雨災害復旧費484万円、令和4年8月豪雨により被害を受けたヤナ公園の復旧を図るための対応などでございます。

歳出合計、2億890万円。

説明は以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。歳入歳出一括して質疑を行います。質問される方、答弁なされる方はそれぞれ簡潔明瞭にされるよう申し添えます。また、質問される方はページを示してください。

3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 何点かお伺いをいたします。

概要の3ページ、2款総務費について最初に伺います。

デジタル推進事業として702万4,000円が計上されてあります。行政情報配信システム構築経費の追加計上という説明ございますが、その追加の内容・目的、そして町民に対しての効果についてお伺いをいたします。

○委員長（山田 仁） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。

こちらの事業につきましては、今年度当初予算でLINEを活用した各種行政情報システムの配信を行う予定としております。このたび、国のデジタル田園都市国家構想交付金の採択を受けまして、電子申請システムの構築を図るため追加するものでございます。

サービス内容については、現在検討中ではございますが、この電子申請システムの導入によりまして、町民の方々がマイナンバーによる本人確認を行うことで証明書等の電子申請が可能となると考えております。

以上です。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） ただいまの説明の中で、マイナンバーを登録することでサービスを受けられるという説明をいただきましたけれども、これは義務なのか、それとも任意になるのかお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。

こちらの仕組みにつきましては、今現在、検討中ではありますが、様々なシステム、またサービスの中から選んでいただくような形となりますので、決して義務ではございません。

以上です。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。デジタル関連は、なかなか慣れていない町民の方も多くございますので、丁寧な説明とともに進めていただければと思います。

続きまして、概要の5ページでございます。

7款商工費の伝統工芸の村管理事業257万円についてお伺いいたします。

指定管理に向けた追加計上ということで、これから何らかの動きが始まるのかなというのを期待しているわけですが、現時点で把握されている内容で構いませんので、どのような事業が始まるのかお伺いをいたします。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えをいたします。

いきいき深山郷のどか村につきましては、以前は深山区に指定管理をして様々な事業を展開していただいたところでございましたけれども、運営に当たるスタッフの皆様の高齢化等によりまして、なかなか運営が難しいというお話を頂戴いたしまして、一度アルカディア財団に管理の委託をいたしまして、さらにはアルカディア財団の経営状況の悪化等によりまして、現在は町直営での管理運営となっております、残念ながら今休業という状況になっております。

このたび、深山区からスタッフも確保できたということで、また以前のようにのどか村の指定管理を受けて活動していきたいというお話があったために、指定管理として改めて深山区さんをお願いしたいということで考えているところでございます。

今お聞きしている内容といたしましては、スタート時点は、以前のように毎日営業というのはなかなか難しいということではございましたけれども、まずは金土日の予約からスタートいたしまして、ゆくゆくは以前と同じように宿泊も伴う営業まで持っていきたいというお話を伺っております。

以上です。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。段階を経てこれから取り組むということかなと思い

ます。

最初の飲食店、いつぐらいの営業開始を見込んでおられるのか、もし日数などお聞きであればお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えをいたします。

今のところのスケジュールでございますけれども、本議会で指定管理の議決をいただきまして、7月1日から指定管理をお任せできればなということで考えております。

そこから様々な準備が当然深山区としてもありますので、最初はカフェのような形になろうかとも思いますけれども、なるべく早くオープンをして、お客様を招き入れたいというお話はお伺いしております。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。1年以上実質使われていなかった施設ということで、様々なところで補修等が出るのかなあと推測いたします。そういった場合には、ぜひ丁寧な対応をお願いしたいなと思います。

続きまして、概要の6ページでございます。

10款教育費、小学校管理費692万円についてお伺いいたします。

老朽化が著しい小学校遊具の撤去及び更新を行うための対応という説明でございますが、その対象はどこの学校のどういった施設なのかお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 橋本教育次長。

○教育次長（橋本秀和） お答えいたします。

小学校遊具の撤去及び更新につきましては、小学校遊具の安全点検におきまして、経年劣化等により使用不可の判定を受けた遊具等について撤去及び再設置等の対応を図るものでございます。

主なものとしたしましては、蚕桑小学校のジャングルジムの撤去・再設置や、東根小学校の鉄棒、ジャングルジムの撤去・再設置などを行うほか、劣化が激しい遊具につきましては、塗装工事等を行いまして長寿命化を図るものでございます。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

撤去も行うと、そしてまた更新も行うということですが、この撤去と更新、これを分けるものはどういったものであるのかお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 橋本教育次長。

○教育次長（橋本秀和） お答えいたします。

学校の遊具につきましては、定期的に点検を行っておりまして、安全を確保しながら維持しているところでございます。やはり最優先にすべきところは、それを使う子供たちの安全であると考えておりまして、遊具の利用状況や運用面での課題など様々な視点

から検討を行っておりまして、最終的には各学校さんと協議した上で撤去するもの、維持していくものというものを判断しているところでございます。

今後におきましても、やはり子供の安全というものを一番に考えまして、点検整備に努めていきたいと考えているところでございます。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

全体的には何となく学校の遊具が減っていく流れなのかなということで、個人的には少し寂しさを感じているところではございます。学校との意見交換・調整の中でこういったものが検討されるということですので、その辺りとしっかり進めていただきたいと思います。

最後でございます。

予算書の15ページでございます。

教育費、4項社会教育費、文化交流センター費、修繕費として85万1,000円が計上されております。こちらの内容について伺いをいたします。

○委員長（山田 仁） 橋本教育次長。

○教育次長（橋本秀和） お答えいたします。

文化交流センター費の修繕料でございますけれども、文化交流センターあゆ一むで実施しております自動ドアの保守点検におきまして、正面の内外のドアにつきまして亀裂や異音が見られるということで不具合が確認されたために、予防保全的な観点から正面の内外及びギャラリーも含めて自動ドアの修繕を行うものでございます。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

あゆ一むさんができて15年ぐらい経過するというところで理解しております。館の中に入ってみますと、椅子の塗装が少し剥げて汚れが目立つようになってきたり、絵画等を展示するスペースの壁も少し汚れが目立つ等、だんだんと維持のための手当てが必要なのかなということを感じているところでございます。今後になるとは思いますけれども、その辺りについて十分に配慮しながら進めていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（山田 仁） 6番、丸川委員。

○6番（丸川雅春） 3点ほど伺いたいと思います。

1点目ですが、概要書の3ページ、2款総務費、まちづくり推進事業における移住施策に向けた体制強化への対応とありますが、予算書を見てもみますと、会計年度任用職員の配置ということではありますが、配置される大きな理由について伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。

移住策の経費につきましては、ポストコロナに当たりまして、これまで制限してきておりましたプロモーション活動や移住体験事業などを今年は活発に行っていきたいと考えております。また、そのような事業への対応やしらか若者移住定住支援交付金などの交付事務に当たりまして、会計年度任用職員の方を配置して取り組んでいきたいと考えております。

それについての経費につきまして計上したところでございます。

以上です。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） 分かりました。それでは、大きな効果を期待するところでありませう。

続きまして、概要書の5ページ、7款商工費、観光4シーズン推進事業、紅花まつりの会場変更とありますが、この変更について内容を伺いたと思います。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えをいたします。

紅花まつりにつきましては、これまで滝野交流館をメイン会場といたしまして、長年実施してきたところでございますけれども、地元であります滝野区さんのほうから運営に携わる方々が高齢化ということで、なかなか実施が難しい旨のお話があったところでございます。

このお話を受けまして、紅花まつりの実行委員会で何案かいろいろ出し合いながら協議をしてきましたけれども、今年度につきましては、主会場をまちづくり複合施設とその周辺ということで変更して実施をしてまいりたいと考えているところでございます。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） 人口不足、人口減少と関連している、本当にこういうところにも人口減少が関係していると分かりました。

滝野交流館で行ってきた内容とまちづくり複合施設周辺で行う内容はどういうものなのか、同じものか伺いたと思います。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えをいたします。

紅花まつりの内容につきましては、基本的には大きな流れは同じかなと考えております。また、その年度その年度でそのイベント等も様々試行を凝らしながらやってきたという経過がございます。

今年度におきましては、あくまでもメイン会場はまちづくり複合施設周辺ではございますけれども、十王地区コミュニティセンターでも同日にイベントをしていただきますし、紅花畑も町なかに点在をしておりますので、そういった紅花畑や町なかの施設を回っていただくことで周遊していただいて、町内で例えば食事などもしていただいて、町

全体で一つのお祭りとなるような形で誘客を図っていければなと考えております。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） 分かりました。

それでは最後になりますが、概要書6ページの11款災害復旧費、観光施設豪雨災害復旧費についてであります。早期の予算措置とならず今回の補正予算措置となった理由について伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えをいたします。

ヤナ公園のヤナ場につきましては、令和4年8月豪雨によりまして被害を受けまして、応急対応は行ったところではございますけれども、その被災箇所が川の中ということもございまして、その工法などもどういった方向でやれるのか、安全にできるのかということで検討してきたということが1点ございます。

もう1点は、最上川ということで、国土交通省、それから河川国道事務所等との協議も必要となりますので、その辺の調整を進めてきておりまして、このたびそういった部分で整ったために、あゆ祭りまでに間に合わせるためにこの時期に補正をさせていただいたというところでございます。

○委員長（山田 仁） 佐藤町長。

○町長（佐藤誠七） 災害復旧費の件でございますが、普通の状態ではまさか壊れると思われないヤナという座敷の一番前が、アギという非常に硬い材質で作られたもので、アユが上流から落ちてくるものをフォローをするというシステムになっています。

そのアギが、多分木が刺さったのではないかと、大木の根っこか何か刺さったんじゃないかと言われていたようですが、それで壊れていると。やはり早く直さないと、アユが上流から落ちてくるときに捕獲することできないということなんです。やはりその作業をするにも野捉のほうで水を調整しながら、そして、最後まで多分一番前現れないかと思っております。かなり大変な作業ですけれども、そうして何とか修繕をし、非常にアユの捕獲量が少なくなってきております。残念ながらいろいろな原因考えられるわけですが、少しでも現場でアユがかかる部分を皆さんに見ていただけるような環境をつくっていきたいということで、そのアギという部分を修繕していきたいということで、今回上程をさせていただいたということでありますので、よろしく申し上げます。

○委員長（山田 仁） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 私からも何点かご質問させていただきます。

まず初めに、予算書の6ページ、概要書ですと3ページでございます。

地区コミュニティセンター費の分館施設整備補助金についてお伺いいたします。

当初740万円ほど当初予算で計画されていたと思っておりますけれども、21件ほどお伺いをしております。今回の補正の内容といたしまして、何件ほどの申請件数があるのか。

おおよそで結構ですので、こういった申請内容というものがあるのかをお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。

当初予算編成時の昨年11月になりますが、各分館に要望調査を行いまして、先ほど議員からありましたとおり、21分館で748万2,000円を当初予算に計上しておりました。

今年度に入りまして、再度要望調査を行った結果、合計で32分館におきまして1,060万円を超える要望がありましたため、追加計上するものでございます。

内容につきましては、照明のLED化やトイレの改修、また屋根の改修等々の経費に充てていただくような形と考えております。

以上です。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） この分館であります、各地域の大事な拠点施設であります。やはり年々この施設も老朽化が進んでいるようでありまして、申請の件数も以前と比べて大分増えているのかなと思います。

例えば、以前、記憶では300万円程度の予算だったかなと思いますが、今般、当初予算と合わせて1,000万円を超えるような額になってまいりました。今後ますます老朽化が進むにつれて、こういった申請の内容も増えていくのかなと思われませんが、その辺の見解と今後とも同様、またはそれ以上の予算対応していかれるのかお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 佐藤町長。

○町長（佐藤誠七） 基本的に分館は分館でその利用者が対応するという基本姿勢になっております。ですから、それぞれの状況によって、すばらしくきれいに整備された分館と、ほとんど昔の旧態依然のようなものとあるわけですし、その中でやはり我々としてはコミュニティと考えた場合には、少しでも応援をさせていただきたいということで、限界がどこだとか、上限がどうだとかということではなく、一件一件やはり相談をさせていただきながら、できる限りの応援はさせていただきたいと思っておりますが、まず基本的に分館については、それぞれの地域が自分たちのものであるという意識の中でやっていただければありがたいと思っております。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 本当にこの分館の補助金につきましては、どこの町内区であっても本当にありがたいという声をお聞きしておりますので、今後とも対応をお願いしたいと思います。

続きまして、予算書の9ページ、概要書ですと4ページになります。

農業振興費の6次産業化推進拠点施設設計委託料の1,189万1,000円に関してお伺いいたします。

今回は施設実施設計と、それから土地の造成工事も含まれていたと説明を受けておりますが、この施設への入居を希望される方は、現在どれくらいいらっしゃるのかお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 大木農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（大木健一） お答えいたします。

入居希望ということでのご質問でございますけれども、今月の町報に入居の意向をお持ちの方の調査をかけてまいりたいと考えてございます。内々には、使ってみたくらいのお声もあるのですが、それを調査という形で実施をさせていただきまして、把握をしてみたいと考えてございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。

当然この施設を利用するには、施設の利用料というものを徴収するという説明を受けておりますけれども、具体的なところはまだかと思っておりますけれども、幾らぐらいを想定していただけるのか、もしそこまで行っていないとすれば、どのような基準で利用料というものを決めていくのか、その辺の考え方を伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 大木農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（大木健一） この拠点施設につきましては、6次産業の取組を活発化させたいということで、やはり一番初期にお金が必要になると捉えてございます。

よって、その部分を幾らでも軽減できるようにということでの施設でございますので、金額につきましてはまだこれから精査が必要でございますけれども、なるべく利用しやすい金額の設定を検討してまいりたいと思っております。

詳細はまだ煮詰まっていないということで申し訳ございませんが、そのような状況でございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） この拠点施設に関して、もう1点伺いいたします。

今回実施設計でありますけれども、これが決まれば、後々には工事ということに移っていくのかなと思っておりますけれども、説明では白鷹町産木材を使用して建てるということをお伺いしておりますけれども、その辺の木材の確保などはめどは立っているのか、これが発注されてから木を切ってきてからでは当然間に合わないと思っておりますので、その辺の確保はある程度めどはつけておられるのか、伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 大木農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（大木健一） お答えいたします。

現在、基本設計まで実施しまして、木造化としていく、さらには内部の木質化などもしていくということで、町産材もできるだけ使っていけるようにということで考えてご

ざいます。

実際の量的な部分につきましては、これから補正予算を頂戴した後、発注します実施設計の中で数量などを量っていくということになるかと思えます。以前ですと、その建設に当たっての木材等については、あらかじめ準備しておくという部分も当然必要だったわけですが、本町につきましては木材の乾燥施設などもあるということで、そういったところをフルに活用して木材の調達に当たっていきたい。さらに、現在町内ではそういった林業事業者の方も森林整備というか、そういうふうな部分で大分動きが出てきておりますので、その部分の木材を当施設のほうにも回していただくとか、そういった調整がこれから必要になってまいりますけれども、十分調達可能と考えているところでございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） ありがとうございます。

続きまして、予算書の11ページ、概要書ですと4ページになります。

林道沼平線道路改良工事の追加費ということで500万円を計上されておられますけれども、これ1,700万円の当初予算であったと思えます。約3割に及ぶ今回の増額でありますけれども、この増額になった理由についてお聞かせください。

○委員長（山田 仁） 大木農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（大木健一） お答えいたします。

林道沼平線につきましては、当初の計画ですと延長で150メートルほどを想定しておったんですけれども、令和5年2月に工事の詳細設計をした結果、起点部の掘削工事等に費用がかさむということで、予定した数量ができないということになりまして、その部分ですと60メートルほどにしかならないということで、後年度の事業の進み具合なども踏まえた際に、事業費を増額して実施させていただきたいということで、国県のほうとも調整をさせていただいて、農山漁村地域整備交付金というものになりますけれども、その部分の増額も見込めたということで、このたび補正をさせていただいて当たっていきたいというものでございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 当初予定していた施工延長までは程遠いということでありまして、最近随分と建設資材なども物価が上がってきているとお伺いしておりますけれども、そういった物価の高騰などの影響などもあって予定どおりいかないということはあるのか、その辺をお聞かせください。

○委員長（山田 仁） 大木農林課長。

○農林課長兼農業委員会事務局長（大木健一） お答えいたします。

そういった部分も当然でございますし、想定していた土量や、そういう動かす部分も詳細の設計で変更になってきたということで増えていると捉えてございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。

続きまして、予算書の12ページ、概要書ですと5ページになります。

道路維持費、道路維持修繕工事1,300万円についてお伺いいたします。

当初1,700万円の予算がついておりましたけれども、今回の1,300万円の増額の内訳、これは確か柏立線、坂之下中川原線、深山と中山ですか、だと思えますけれども、そのほか何件ほどの件数と内容になっているのかお聞かせください。

○委員長（山田 仁） 菊地建設課長。

○建設課長（菊地 智） お答えをさせていただきます。

今回の1,300万円の追加計上でございますけれども、ただいま委員からございましたように、中山の柏立線、こちらにつきましてはスキー場の入り口の路線になっております。それから、深山地内の坂之下中川原線という大きいところではこの2か所を想定してございます。

今年の年度当初でしたけれども、今回の2路線もそうなのですが、やはり町道が激しく傷んでいるという箇所につきまして、緊急的な舗装の路面補修工事が必要だと、我々で判断させていただいた場所がございまして、そちらについて対応させていただくというものになってございます。また、このほかにも当然緊急的な事案も発生するであろうという想定もございまして、それも含んだ金額として1,300万円を追加計上させていただいたということでございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。

町内を見ますと、大分舗装なども傷んでいる道路も見受けられますし、各地域からの要望等も多くあると思います。今年度は大分頑張っているのかなと思いますけれども、工事を進める際には老朽化の度合いというものもあると思うのですけれども、どこから先に手をつけるという優先順位と申しますか、その辺の基準などについてどのように考えておられるのか、再度お聞かせください。

○委員長（山田 仁） 菊地建設課長。

○建設課長（菊地 智） お答えさせていただきます。

道路の維持補修といった部分についてでございますけれども、まずはその交通量でありますとか、あと道路の形状、あとは道路の利用形態、例えば緊急輸送道など、そういった利用形態がございまして、あとは幅員の状況であったり舗装の状況、そういった部分につきまして総合的にまず勘案させていただきます。その中で危険度、さらには緊急度が高いものから順次判断をさせていただいて、修繕の対応を取らせていただいているという状況でございます。

○委員長（山田 仁） 佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 最後にもう一度お伺いいたします。

各地区からの要望等も多く出ている内容だと認識しております。これに関しても、今年度またさらに補正予算を組んで追加対応するなどという考えはあるのか、その辺の考えをお聞かせください。

○委員長（山田 仁） 佐藤町長。

○町長（佐藤誠七） 私どもは修理修繕、補修等々をしている場合は、財源をどう求めるのか、一般財源をただ使うのでは、正直言って町民の皆さんにご負担をおかけするだけだということですので、できる限りいい制度、ただし制度も毎年変わってきます。そういう情報を私どもは仕入れながら、少しでも有利なものを使いながら幅広くやらせていただきたいと。

今、委員からありましたように、町内にはかなりの部分があるというお話ですが、できる限り我々はそういう現場を確認の上、修理修繕のほうはやっているつもりでございますので、この幅広い話じゃなくて、具体的にどこどこがどうだというお話をいただければありがたいということです。

○委員長（山田 仁） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑終結と認めます。

○議第65号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に移ります。議第65号 令和5年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

初めに、補正予算の概要についての説明を求めます。片山病院事務局長。

○病院事務局長（片山正弘） 病院事業会計の補正予算の概要についてご説明を申し上げます。

概要書6ページの下段をご覧くださいと思います。

内容といたしましては、資本的支出といたしまして、病院ホール部トップライト周囲改修工事に係る工事費の調整ということで、このたび450万円を追加するものでございます。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

資本的支出について質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了いたします。

○議第64号の採決

○委員長（山田 仁） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

初めに、議第64号 令和5年度白鷹町一般会計補正予算（第2号）について採決いたします。

議第64号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員です。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第65号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第65号 令和5年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第65号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。ご着席ください。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（山田 仁） 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算2件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決しました。

○閉会の宣告

○委員長（山田 仁） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉 会

〈午後2時02分〉